

1 【新聖歌235 罪・重荷をのぞくは】

1 罪 重荷を除くは 血の力 主の血は
悪魔の業をこぼつ 奇(く)しき力なり
※
力ある主イエスの血 受けよ 受けよ
力ある主イエスの血 受けよ 今 受けよ
2 肉の欲を除くは 血の力 主の血は
罪 汚れをきよむる 奇しき力なり
4 主に誠(まこと)を尽くすに 血の力 主の血は
日ごとわれを助くる 奇しき力なり

聖霊様あなたを求めます

B♭ D+5 E♭ Cm

聖霊様あなたを求めます (※あなたに委ねます)

F E♭ B♭

聖霊様あなたを求めます

B♭ D+5 E♭ Cm

全能の神 助け主

F B♭

あなたを求めます

F E♭ B♭ E♭ B♭ C7 F F7

飢え渴くこころを 満たしたまえふたたび

聖霊様あなたを求めます 聖霊様あなたを求めます

全能の神 癒し主 あなたを求めます

B♭ Dm E♭ Cm

たたえよ全能の 神を

E♭/F F B♭ E♭/F

とこしえまでおられる主

B♭ Dm E♭ Cm

たたえよ全能の神を

E♭/F F B♭

とわの王を

5

祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って…

・大和カルバリー・チャペルと大川牧師ご夫妻のため
・瀬戸カルバリー・チャペルと倉知牧師家族のため
・教会が成長しますように!
①信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリスト
の似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
②新しい方が来られますように、未信者の方がイエス
様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
③地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広げら
れますように。
④瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために
用いられる教会となりますように。

信仰宣言

「私の家族は全員救われます」「日本にはリバイバル
が始まっています」「私も用いられます」
「すべての問題は解決します」「することなすこと、
みな成功します」「私のまわりには奇跡が起こります」
「すべてのことを感謝します」

「イエス様がご一緒ですから」
「ハalleluya主よ感謝します」

11/7 の礼拝のために→
心からお祈りしましょう→
小山勇児兄のために→



瀬戸カルバリー・チャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899

牧師: 倉知契 kei.kurachi@gmail.com

立琴よ、琴よ、さめよ。わたしはしののめを呼びさします。



祈りの小径(こみち)

Number:084 瀬戸カルバリー・チャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せとのもの
街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品に
ある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字
の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2

今日の聖書のことば ゆっくり読んで黙想しましょう。

詩篇55篇22節

22 あなたの荷を主にゆだねよ。主はあなたをささえられる。主は正しい人の動かされるのを決してゆるされない。

ルカによる福音書23章45～46節

45 そして聖所の幕がまん中から裂けた。46 そのとき、イエスは声高く叫んで言われた、「父よ、わたしの靈をみ手にゆだねます」。こう言ってついに息を引きとられた。

ペテロの第一の手紙5章6～7節

6 だから、あなたがたは、神の力強い御手の下に、自らを低くしなさい。時が来れば神はあなたがたを高くして下さるであろう。7 神はあなたがたをかえりみていて下さるのであるから、**自分の思いわずらいを、いっさい神にゆだねるがよい。**

詩篇57篇1～2節・7～11節 (ぜひ聖書を開いて・説明文あり)

1 神よ、わたしをあわれんでください。わたしをあわれんでください。わたしの魂はあなたに寄り頼みます。滅びのあらしの過ぎ去るまではあなたの翼の陰をわたしの避け所とします。2わたしはいと高き神に呼ばわります。わたしのために**すべての事をなしとげられる神に呼ばわります。**

7 神よ、わたしの心は定まりました。わたしの心は定まりました。わたしは歌い、かつほめたたえます。8 わが魂よ、さめよ。**立琴よ、琴よ、さめよ。**わたしはしののめを呼びさみます。9 主よ、わたしはもうもろの民の中であなたに感謝し、もうもろの国の中であなたをほめたたえます。10 あなたのいくしみは大きく、天にまで及び、あなたのまことは雲にまで及びます。11 神よ、みずからを天よりも高くし、みさかえを全地の上にあげてください。

3

黙想(Life Art Meditation)の時間 (感じたこと・恵まれたことをノートします)

4

みことばの解説



「朝の宣言」の学びも、いよいよ
第5ブロックです。キリストにある「真理」
に立ちつつ、現実と向き合う私たちの
あるべき姿、それは「御手に委ねること」

私は過去の失敗に囚われません。キリストにあって、罪は
赦され、過去は過ぎ去り、すべてが新しくなりました。

思い煩いと心配を主の御手に委ねます。

死の陰の谷を歩むときも災いを恐れません。あなたが共に
いてくださるからです。あなたが最善をしてくださるので、
私も、私のベストをあなたにお捧げします。いつも喜び、絶
えず祈り、すべてのことに感謝します。…

「委ねる」ことは「手渡す・明け渡すことです。

駅伝の走者が自分の区間を走り終えたなら、襷(たすき)を次のランナーに委ねます。もうそのランナーの重荷はなくなりました、ので完全にリラックスして休んでいいのです。ただし、勝敗も気にせず家に帰って休むわけはありません。「勝利を信じ、期待し、応援しつつ、ゴールで待ちます」。イエス様は、信仰の創始者であり完成者です。私たちの信仰のレースの第一走者であり、最終ランナー。どれほどビハインドでも、最後は勝利してくださいますから、ゴールの歓喜を期待して、バトンを手渡しましょう！

「委ねる」ことは「心を定めることです。

委ねた！ことを確認し、委ねた者らしく、賛美と感謝に
溢れて生活します。そのためには、自らの**魂を覚醒させま
す。また立琴(委ねられた賜物と使命)を覚醒させます。**「し
ののめ」とは「暁(あかつき)・夜明け・明け方」のこと。ですから
「夜明けを呼び覚ます」(夜明けは待つ以外ありませんか)とは、夜
の時間が短くなる(と感じる)ほど、その夜の時間に賛美を捧
げ、立琴をかき鳴らすことです。それは、強制でも義務でも
修行でもありません。すでに「手渡した」ので「安心と平
安」に溢れた時間です。ただ、その重荷と思い煩いとい
のちを「引き受けてくださった御方」を思う時に、この御方の
「成し遂げられたすべての事」のゆえに、賛美せずにい
られないのです！